



健やか豆知識

第12回

Q. 手のひら2枚分の面積の湿疹にステロイド外用薬を塗るとき、軟膏チューブから何cmくらい軟膏を押し出した量が適当でしょうか。

- Ⅰ 1cm Ⅱ 2cm Ⅲ 3cm



大人の手のひら
2枚分
||
赤ちゃんの
背中
の面積



ステロイド外用薬は、指示された量をしっかり塗る

アトピー性皮膚炎は、かゆみのある特徴的な湿疹がよくったり悪くなったりを繰り返す病気です。患者の多くはアレルギー体質を有しており、皮膚は生まれつき保湿因子が少ないため、バリア機能が障害され乾燥します。

赤ちゃんから大人まで幅広く患者があり、その多くは軽症ですが、中にはかゆみが強く十分に眠れず、身長の伸びが悪くなったり日常生活で本来の力を発揮できなくなることがあります。

治療法は、①悪化の原因を取り除く、②スキンケア、③薬物療法(外用・内服)が基本となります。悪化の原因はさまざまですが、汗や乾燥、物理的な刺激(よだれ、石鹸・洗剤、衣服のこすれなど)、大人になるとストレスも大きく関係します。スキンケアとしては、低刺激性の石鹸など使って肌を清潔に保ち、保湿薬をこまめに塗って皮膚を保護します。また、湿疹には適切な塗り薬による治療が必要です。かつて、ステロイド外用薬はよくないという風潮がありましたが、ステロイド外用薬は適切に使用(医師・薬剤師から指示された量を患部に塗布)すれば、これほど安全で効果的な薬剤はありません。患部への塗布量は患部の面積により異なります。外用薬0.5gは大人の手のひら2枚分(赤ちゃんの背中程度)の面積に相当します。0.5gは大人の人差し指の第1関節から指先までチューブから外用薬を押し出した量(約3cm)が目安となります。この量を毎日1~2回患部に塗ります。

近年はステロイド外用薬以外の外用薬の種類が増え、患者さんの選択肢が広がりました。根気よくアトピー性皮膚炎の治療(生活環境、スキンケア、薬)を続けることが大切です。

監修 今井 孝成 昭和大学医学部小児科 教授

< Ⅲ 勘五 >

高田製薬株式会社

〒336-8666 埼玉県さいたま市南区沼影1丁目11-1

高田製薬

www.takata-seiyaku.co.jp

さらに詳しい情報は
ホームページで!

⇒さらに詳しい情報は「クイズ解説」をご覧ください